

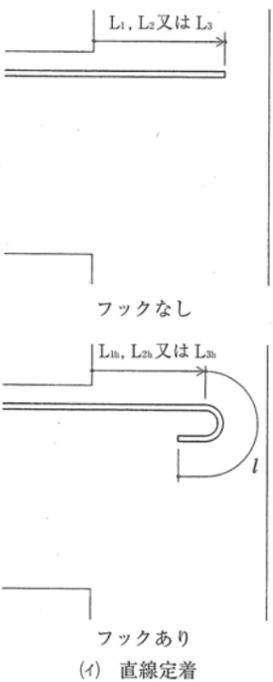
平成 22 年版 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）の正誤表について

お手持ちの仕様書の奥付（最終ページ）の発行日をご確認いただき、下記により該当の「正誤表」による訂正をお願い致します。

- ・平成 22 年 5 月 25 日発行「第 1 刷」は、第 1 刷及び第 1～3 刷の正誤表
- ・平成 22 年 6 月 10 日発行「第 2 刷」及び平成 22 年 7 月 16 日発行「第 3 刷」は、第 1～3 刷の正誤表

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成 22 年版 第 1 刷 正誤表

平成 22 年 6 月

No.	訂正箇所	誤	正
249	3 節 鉄筋の加工及び組立 8.3.4 継手及び定着 図 8.3.2 定着の方法	 <p>フックなし</p> <p>フックあり (イ) 直線定着</p>	 <p>フックなし</p> <p>フックあり (イ) 直線定着</p>

ページ	訂正箇所	誤	正																																																																				
4 章 外壁改修工事																																																																							
72	2 節 材料 4.2.2 工法別使用材料 (g) モルタル塗替え工法用材料 (6) 吸水調整材の品質は, 表 4.2.2 による。	<p style="text-align: center;">表 4.2.2 吸水調整材の品質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質</th> <th>試験方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外観</td> <td>粗粒子, 異物, 凝固物等がないこと。</td> <td rowspan="7">日本建築工学会規格 M-101 (セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準) による。</td> </tr> <tr> <td>全固形分</td> <td>表示値±1.0%以内</td> </tr> <tr> <td>吸水性</td> <td>30 分間で 1g 以下</td> </tr> <tr> <td>標準状態</td> <td rowspan="4">著しいひび割れ及びはく離がなく, 接着強度が 1.0N/mm² 以上で, 界面破断が 50% であること。</td> </tr> <tr> <td>熱冷繰返し抵抗性</td> </tr> <tr> <td>凍結融解抵抗性</td> </tr> <tr> <td>熱アルカリ溶融抵抗性</td> </tr> </tbody> </table>	項目	品質	試験方法	外観	粗粒子, 異物, 凝固物等がないこと。	日本建築工学会規格 M-101 (セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準) による。	全固形分	表示値±1.0%以内	吸水性	30 分間で 1g 以下	標準状態	著しいひび割れ及びはく離がなく, 接着強度が 1.0N/mm ² 以上で, 界面破断が 50% であること。	熱冷繰返し抵抗性	凍結融解抵抗性	熱アルカリ溶融抵抗性	<p style="text-align: center;">表 4.2.2 吸水調整材の品質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質</th> <th>試験方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外観</td> <td>粗粒子, 異物, 凝固物等がないこと。</td> <td rowspan="7">日本建築工学会規格 M-101 (セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準) による。</td> </tr> <tr> <td>全固形分</td> <td>表示値±1.0%以内</td> </tr> <tr> <td>吸水性</td> <td>30 分間で 1g 以下</td> </tr> <tr> <td>標準状態</td> <td rowspan="4">著しいひび割れ及びはく離がなく, 接着強度が 1.0N/mm² 以上で, 界面破断が 50%以下 であること。</td> </tr> <tr> <td>熱冷繰返し抵抗性</td> </tr> <tr> <td>凍結融解抵抗性</td> </tr> <tr> <td>熱アルカリ溶融抵抗性</td> </tr> </tbody> </table>	項目	品質	試験方法	外観	粗粒子, 異物, 凝固物等がないこと。	日本建築工学会規格 M-101 (セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準) による。	全固形分	表示値±1.0%以内	吸水性	30 分間で 1g 以下	標準状態	著しいひび割れ及びはく離がなく, 接着強度が 1.0N/mm ² 以上で, 界面破断が 50%以下 であること。	熱冷繰返し抵抗性	凍結融解抵抗性	熱アルカリ溶融抵抗性																																						
項目	品質	試験方法																																																																					
外観	粗粒子, 異物, 凝固物等がないこと。	日本建築工学会規格 M-101 (セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準) による。																																																																					
全固形分	表示値±1.0%以内																																																																						
吸水性	30 分間で 1g 以下																																																																						
標準状態	著しいひび割れ及びはく離がなく, 接着強度が 1.0N/mm ² 以上で, 界面破断が 50% であること。																																																																						
熱冷繰返し抵抗性																																																																							
凍結融解抵抗性																																																																							
熱アルカリ溶融抵抗性																																																																							
項目	品質	試験方法																																																																					
外観	粗粒子, 異物, 凝固物等がないこと。	日本建築工学会規格 M-101 (セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準) による。																																																																					
全固形分	表示値±1.0%以内																																																																						
吸水性	30 分間で 1g 以下																																																																						
標準状態	著しいひび割れ及びはく離がなく, 接着強度が 1.0N/mm ² 以上で, 界面破断が 50%以下 であること。																																																																						
熱冷繰返し抵抗性																																																																							
凍結融解抵抗性																																																																							
熱アルカリ溶融抵抗性																																																																							
75 76	2 節 材料 4.2.2 工法別使用材料 (j) 塗り仕上げ用材料 (1) 仕上塗材	<p>表 4.2.4 仕上塗材の種類, 仕上げの形状及び工法 種類: 薄付け仕上塗材 呼び名: 外装薄塗材 E</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>砂壁状 ゆず肌状</th> <th>吹付 け</th> <th>下塗材 (注)1 主材</th> <th>0.1 以上 1.0 以上</th> <th>1 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平坦状 凹凸状</td> <td>こて</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 0.6 以上</td> <td>1~2 (注)4</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状 さざ波状</td> <td>ロー ラー</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 0.6 以上</td> <td>1~2 (注)4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">着色骨材 砂壁状</td> <td>吹付 け</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 1.5 以上</td> <td>1 2</td> </tr> <tr> <td>こて</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 0.9 以上</td> <td>1~2 (注)4</td> </tr> </tbody> </table> <p>種類: 複層仕上塗材 呼び名: 可とう形複層塗材 C E</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凸部処理 凹凸模様</th> <th>吹付 け</th> <th>下塗材 主材基層 主材模様 上塗材</th> <th>0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上</th> <th>1 1~2 (注)4 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凸部処理 凹凸模様</td> <td>吹付 け</td> <td>下塗材 主材基層 主材模様 上塗材</td> <td>0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上</td> <td>1 1~2 (注)4 2</td> </tr> </tbody> </table>	砂壁状 ゆず肌状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.0 以上	1 2	平坦状 凹凸状	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1~2 (注)4	ゆず肌状 さざ波状	ロー ラー	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1~2 (注)4	着色骨材 砂壁状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.5 以上	1 2	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.9 以上	1~2 (注)4	凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2	凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2	<p>表 4.2.4 仕上塗材の種類, 仕上げの形状及び工法 種類: 薄付け仕上塗材 呼び名: 外装薄塗材 E</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>砂壁状 ゆず肌状</th> <th>吹付 け</th> <th>下塗材 (注)1 主材</th> <th>0.1 以上 1.0 以上</th> <th>1 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平坦状 凹凸状</td> <td>こて</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 0.6 以上</td> <td>1 1~2 (注)4</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状 さざ波状</td> <td>ロー ラー</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 0.6 以上</td> <td>1 1~2 (注)4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">着色骨材 砂壁状</td> <td>吹付 け</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 1.5 以上</td> <td>1 2</td> </tr> <tr> <td>こて</td> <td>下塗材 (注)1 主材</td> <td>0.1 以上 0.9 以上</td> <td>1 1~2 (注)4</td> </tr> </tbody> </table> <p>種類: 複層仕上塗材 呼び名: 可とう形複層塗材 C E</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凸部処理 凹凸模様</th> <th>吹付 け</th> <th>下塗材 主材基層 主材模様 上塗材</th> <th>0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上</th> <th>1 1~2 (注)4 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凸部処理 凹凸模様</td> <td>吹付 け</td> <td>下塗材 主材基層 主材模様 上塗材</td> <td>0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上</td> <td>1 1~2 (注)4 2</td> </tr> </tbody> </table>	砂壁状 ゆず肌状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.0 以上	1 2	平坦状 凹凸状	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1 1~2 (注)4	ゆず肌状 さざ波状	ロー ラー	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1 1~2 (注)4	着色骨材 砂壁状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.5 以上	1 2	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.9 以上	1 1~2 (注)4	凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2	凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2
砂壁状 ゆず肌状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.0 以上	1 2																																																																			
平坦状 凹凸状	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1~2 (注)4																																																																			
ゆず肌状 さざ波状	ロー ラー	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1~2 (注)4																																																																			
着色骨材 砂壁状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.5 以上	1 2																																																																			
	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.9 以上	1~2 (注)4																																																																			
凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2																																																																			
凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2																																																																			
砂壁状 ゆず肌状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.0 以上	1 2																																																																			
平坦状 凹凸状	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1 1~2 (注)4																																																																			
ゆず肌状 さざ波状	ロー ラー	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.6 以上	1 1~2 (注)4																																																																			
着色骨材 砂壁状	吹付 け	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 1.5 以上	1 2																																																																			
	こて	下塗材 (注)1 主材	0.1 以上 0.9 以上	1 1~2 (注)4																																																																			
凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2																																																																			
凸部処理 凹凸模様	吹付 け	下塗材 主材基層 主材模様 上塗材	0.1 以上 1.0 以上 0.5 以上 0.25 以上	1 1~2 (注)4 2																																																																			
8 章 耐震改修工事																																																																							
231	1 節 一般事項 8.1.4 普通コンクリートの品質	(a) 構造体コンクリートの強度 (1) 構造体コンクリートの強度は, 材齢 91 日において設計基準強度以上とする。	(a) 構造体コンクリートの強度 (1) 構造体コンクリートの強度は, 材齢 91 日において設計基準強度以上とする。 <u>なお, 工事現場における構造体コンクリート強度の推定は, 現場水中養生による材齢 28 日における管理を基本とし, これを満足しないと想定される場合に, 現場封かん養生による材齢 28 日及び材齢 28 日を超え 91 日以内の強度を推定する試験を行うものとする。</u>																																																																				

244	2節 材料 8.2.12 鋼材の材料試験等	(b) 1.4.4 [材料の検査等] (c)のJ I S等の規定に適合する品質であることを証明する規格証明書は、原則として、規格品証明書とする。ただし、監督職員の承諾を受けて、鉄骨工事使用鋼材証明書とすることができる。	(b) 1.4.4 [材料の検査等] (c)のJ I S等の規定に適合する品質であることを証明する資料は、原則として、規格品証明書とする。ただし、監督職員の承諾を受けて、その他規格を証明できる書類に代えることができる。																																						
ページ	訂正箇所	誤	正																																						
269	8.8.4 コンクリートの強度試験の総則	<p>表 8.8.2 供試体の養生方法、材齢及び試験回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験種目</th> <th>試験の目的</th> <th>養生方法</th> <th>材齢</th> <th>試験回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調合管理強度の管理試験</td> <td>調合管理強度の管理</td> <td>(b)(3)(i)による標準養生</td> <td rowspan="2">28日</td> <td rowspan="2">(a)による。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体のコンクリート強度の推定試験</td> <td>構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定</td> <td rowspan="2">工事現場における水中養生。</td> </tr> <tr> <td>型枠取外し時期の決定</td> <td>必要に応じて定める。</td> </tr> <tr> <td>構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定</td> <td>工事現場における封かん養生</td> <td>・28日を超え91日以内</td> <td>(a)による。</td> </tr> </tbody> </table>	試験種目	試験の目的	養生方法	材齢	試験回数	調合管理強度の管理試験	調合管理強度の管理	(b)(3)(i)による標準養生	28日	(a)による。	構造体のコンクリート強度の推定試験	構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定	工事現場における水中養生。	型枠取外し時期の決定	必要に応じて定める。	構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定	工事現場における封かん養生	・28日を超え91日以内	(a)による。	<p>表 8.8.2 供試体の養生方法、材齢及び試験回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験種目</th> <th>試験の目的</th> <th>養生方法</th> <th>材齢</th> <th>試験回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調合管理強度の管理試験</td> <td>調合管理強度の管理</td> <td>(b)(3)(i)による標準養生</td> <td rowspan="2">28日</td> <td rowspan="2">(a)による。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体のコンクリート強度の推定試験</td> <td>構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定</td> <td rowspan="2">工事現場における水中養生。</td> </tr> <tr> <td>型枠取外し時期の決定</td> <td>必要に応じて定める。</td> </tr> <tr> <td>構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定</td> <td>工事現場における封かん養生</td> <td>・28日及び28日を超え91日以内</td> <td>いずれも(a)による。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 8.8.6 (a)を満足しないと想定される場合</p>	試験種目	試験の目的	養生方法	材齢	試験回数	調合管理強度の管理試験	調合管理強度の管理	(b)(3)(i)による標準養生	28日	(a)による。	構造体のコンクリート強度の推定試験	構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定	工事現場における水中養生。	型枠取外し時期の決定	必要に応じて定める。	構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定	工事現場における封かん養生	・28日及び28日を超え91日以内	いずれも(a)による。
試験種目	試験の目的	養生方法	材齢	試験回数																																					
調合管理強度の管理試験	調合管理強度の管理	(b)(3)(i)による標準養生	28日	(a)による。																																					
構造体のコンクリート強度の推定試験	構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定	工事現場における水中養生。																																							
	型枠取外し時期の決定		必要に応じて定める。																																						
構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定	工事現場における封かん養生	・28日を超え91日以内	(a)による。																																						
試験種目	試験の目的	養生方法	材齢	試験回数																																					
調合管理強度の管理試験	調合管理強度の管理	(b)(3)(i)による標準養生	28日	(a)による。																																					
構造体のコンクリート強度の推定試験	構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定	工事現場における水中養生。																																							
	型枠取外し時期の決定		必要に応じて定める。																																						
構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定	工事現場における封かん養生	・28日及び28日を超え91日以内	いずれも(a)による。																																						
269	8.8.6 構造体コンクリート強度の推定試験	(b) (a)の(1)及び(2)を満足しなかった場合は、現場封かん養生供試体の材齢28日を超え91日以内の圧縮強度試験の1回の試験結果が、設計基準強度に3N/mm ² を加えた値以上であれば合格とする。	(b) (a)の(1)及び(2)を満足しなかった場合は、現場封かん養生供試体の材齢28日の圧縮強度試験の1回の試験結果が設計基準強度に0.7を乗じた値以上であり、かつ、材齢28日を超え91日以内の圧縮強度試験の1回の試験結果が、設計基準強度に3N/mm ² を加えた値以上であれば合格とする。																																						
271	8.9.8 型枠	型枠の存置期間は、特記による。	型枠の存置期間は、特記による。特記がなければ、8.7.9(c)による。																																						